



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月4日

上場会社名 荏原実業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6328 URL <https://www.ejk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 兼 COO (氏名) 阿部 亨

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 総合企画室長 (氏名) 大野 周司 TEL 03-5565-2885

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 2020年9月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	16,087	2.8	1,982	27.8	2,062	26.5	1,428	24.5
2019年12月期第2四半期	15,652	2.7	1,551	11.3	1,631	9.4	1,147	9.2

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 1,245百万円 (23.1%) 2019年12月期第2四半期 1,619百万円 (73.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	223.02	
2019年12月期第2四半期	174.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	30,117	15,422	51.2
2019年12月期	28,065	14,945	53.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 15,422百万円 2019年12月期 14,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		30.00		30.00	60.00
2020年12月期		30.00			
2020年12月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	3.8	2,150	6.2	2,270	4.6	1,600	5.8	242.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	6,715,000 株	2019年12月期	6,715,000 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	430,442 株	2019年12月期	122,867 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	6,405,832 株	2019年12月期2Q	6,592,133 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料等の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2020年8月6日(木)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、四半期決算説明会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて開催を取りやめ、2020年8月7日(金)に動画を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、経済活動が大きく制限を受け、景況感は急速に悪化しました。国内では5月末に非常事態宣言が解除されたものの、第2波への警戒もあり、景気の先行きは全く予断を許さない状況が続いております。

当社を取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では、上下水道関連設備の更新・改修・機能強化、雨水排水対策などの需要が堅調に推移したものの、民間分野では、景気の先行きの不透明感から、一部に設備投資需要の停滞も見られております。

このような事業環境の下、当社グループは、企業価値の向上を目指し、以下の戦略に取り組んでおります。

①「環境関連」を成長の核とするために、事業領域の拡大とニッチ戦略を進める。

a. 新製品の投入

ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)に続き、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の取り組みを強化

※ZEB、ZEHとは、「創出エネルギー≧消費エネルギー量」となるビルディング又は家のこと

b. 現有製品群のブラッシュアップ

実績のある製品は利益を重視

「高度処理」「省エネ」「AI/IoT」「環境負荷軽減」「安全安心」のニーズに対応する形で競争力を強化

c. メンテナンス・サービスの強化

アフターサービスを充実させ、外部環境に左右されない収益基盤として育成

②顧客軸・製品軸の両面から、事業領域の開拓を進める。

a. 選別受注、積算技術の向上、原価意識の徹底

b. 実績の少ないエリアでの受注活動強化

c. 防災需要への対応

③既存の収益基盤を着実に強化する。

a. ゼネコン・サブコン・メーカーとの連携強化

b. 多様な顧客層へのアプローチ

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は155億33百万円(前年同期比34.5%増)、売上高は160億87百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は19億82百万円(前年同期比27.8%増)、経常利益は20億62百万円(前年同期比26.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億28百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(環境関連)

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントの受注高は、脱臭分野は減少したものの、蓄電池等のZEB関連製品の増加により省エネ・創エネ分野が増加し、また、新型コロナウイルス感染症拡大により陰圧装置等の医療関連製品が増加したことによって、セグメント全体では前年同期比50.2%増の33億34百万円となりました。売上高は、計測分野、脱臭分野が減少したものの、水処理プラント分野の水景案件、医療関連製品等が増加し、前年同期比9.0%増の29億1百万円となりました。セグメント利益は、売上高は増加したものの、セグメント共通販売費及び一般管理費の負担増加により、前年同期比3.3%減となる4億4百万円となりました。

(水処理関連)

上下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントの受注高は、上下水道設備の更新案件の増加に加え、雨水排水案件も増加し前年同期比107.6%増の73億80百万円となりました。売上高は、受注高の増加によって、前年同期比6.8%増の80億円となり、セグメント利益も売上高の増加に伴い、前年同期比34.0%増となる13億68百万円となりました。

(風水力冷熱機器等関連)

主にポンプ、冷凍機、空調機器などを商社として販売する当セグメントでは、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が制限され、案件の進捗に遅れが出ております。また、景気の先行きの不透明感から、一部に設備投資需要の停滞も見られ、受注高は前年同期比16.5%減の48億17百万円となり、売上高も前年同期比5.8%減の51億85百万円となりました。しかし、セグメント利益は、売上総利益率の上昇やセグメント共通販売費及び一般管理費の負担減少等によって、前年同期比30.0%増の6億14百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
環境関連	3,334	150.2	3,461	135.5
水処理関連	7,380	207.6	10,795	135.7
風水力冷熱機器等関連	4,817	83.5	4,167	91.1
合計	15,533	134.5	18,424	122.2

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は301億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億51百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加55億47百万円、受取手形及び売掛金の減少29億1百万円、棚卸資産の減少3億66百万円、投資有価証券の減少1億87百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は146億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億74百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加7億37百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は154億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億76百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益14億28百万円の計上、剰余金の配当1億97百万円、保有有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少1億91百万円等であります。この結果、自己資本比率は51.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ67億22百万円増加し119億49百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は64億61百万円(前年同期は54億84百万円の獲得)となりました。

税金等調整前四半期純利益20億34百万円の計上に加え、売上債権が29億1百万円減少し、仕入債務が7億37百万円増加するなどしたため、営業活動全体では64億61百万円の増加となったものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は10億29百万円(前年同期2億37百万円の使用)となりました。

主な内訳は、拘束性預金の減少11億75百万円、投資有価証券の取得による支出1億18百万円、有形固定資産の取得による支出29百万円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億68百万円(前年同期は2億31百万円の使用)となりました。

主な内訳は、自己株式の取得による支出5億70百万円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、今後の経済動向を見通すことは、極めて困難な状況ではありますが、現時点では2020年12月期の連結業績への影響は限定的であると考えております。従いまして、2020年2月13日付「2019年12月期 決算短信」にて発表しました2020年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,408	11,955
受取手形及び売掛金	10,167	7,266
商品及び製品	541	534
仕掛品	195	218
未成工事支出金	647	212
原材料及び貯蔵品	210	263
その他	150	176
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	18,321	20,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,172	3,203
減価償却累計額	△1,767	△1,811
建物及び構築物 (純額)	1,405	1,392
機械装置及び運搬具	191	194
減価償却累計額	△110	△124
機械装置及び運搬具 (純額)	80	69
工具、器具及び備品	631	636
減価償却累計額	△543	△557
工具、器具及び備品 (純額)	87	78
土地	1,360	1,360
その他	3	3
減価償却累計額	△3	△3
その他 (純額)	-	-
有形固定資産合計	2,934	2,900
無形固定資産	154	140
投資その他の資産		
投資有価証券	5,087	4,900
保険積立金	727	726
投資不動産 (純額)	679	673
繰延税金資産	14	17
その他	253	239
貸倒引当金	△106	△106
投資その他の資産合計	6,655	6,449
固定資産合計	9,744	9,491
資産合計	28,065	30,117

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,397	9,134
短期借入金	1,090	1,090
未払法人税等	381	657
未払消費税等	136	248
前受金	1,056	1,687
工事損失引当金	112	124
その他	570	459
流動負債合計	11,746	13,402
固定負債		
繰延税金負債	977	882
役員退職慰労引当金	158	158
退職給付に係る負債	153	169
その他	83	81
固定負債合計	1,374	1,292
負債合計	13,120	14,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	831	831
利益剰余金	10,996	12,227
自己株式	△291	△861
株主資本合計	12,538	13,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,451	2,259
退職給付に係る調整累計額	△44	△35
その他の包括利益累計額合計	2,407	2,224
純資産合計	14,945	15,422
負債純資産合計	28,065	30,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	15,652	16,087
売上原価	11,395	11,285
売上総利益	4,256	4,802
販売費及び一般管理費	2,705	2,819
営業利益	1,551	1,982
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	44	46
投資不動産賃貸料	48	50
その他	18	12
営業外収益合計	113	110
営業外費用		
支払利息	4	3
不動産賃貸費用	18	19
保険解約損	9	0
その他	0	5
営業外費用合計	33	29
経常利益	1,631	2,062
特別損失		
投資有価証券評価損	-	28
特別損失合計	-	28
税金等調整前四半期純利益	1,631	2,034
法人税、住民税及び事業税	487	622
法人税等調整額	△4	△16
法人税等合計	483	605
四半期純利益	1,147	1,428
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,147	1,428

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,147	1,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	463	△191
退職給付に係る調整額	8	8
その他の包括利益合計	471	△183
四半期包括利益	1,619	1,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,619	1,245
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,631	2,034
減価償却費	88	99
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	-	12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	29	27
受取利息及び受取配当金	△45	△47
支払利息	4	3
保険解約損益 (△は益)	△6	0
売上債権の増減額 (△は増加)	3,614	2,901
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	28
たな卸資産の増減額 (△は増加)	292	366
仕入債務の増減額 (△は減少)	631	737
前受金の増減額 (△は減少)	△362	630
未払又は未収消費税等の増減額	55	112
その他	△70	△131
小計	5,860	6,774
利息及び配当金の受取額	45	47
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△417	△357
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,484	6,461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の純増減額 (△は増加)	△132	1,175
有形固定資産の取得による支出	△61	△29
無形固定資産の取得による支出	△46	△2
投資有価証券の取得による支出	△18	△118
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	0
保険積立金の解約による収入	30	10
その他	△9	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237	1,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△230	△197
自己株式の取得による支出	-	△570
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231	△768
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,015	6,722
現金及び現金同等物の期首残高	6,165	5,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,180	11,949

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式250,000株の取得を行いました。また、2020年3月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式57,500株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が570百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末において自己株式が861百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	2,660	7,488	5,503	15,652	-	15,652
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,660	7,488	5,503	15,652	-	15,652
セグメント利益	418	1,020	472	1,911	△360	1,551

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	2,901	8,000	5,185	16,087	-	16,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,901	8,000	5,185	16,087	-	16,087
セグメント利益	404	1,368	614	2,386	△404	1,982

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。